

2025年3月2日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第67巻第49号(通算3431号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

降誕節 第10主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 ヨエル書 2章 12-13節

賛美歌 21-289番「みどりもふかき」(©著作権消滅)

聖書 マタイによる福音書 6章 16-21節

お祈り

賛美歌 21-507番「主に従うことは」(©教団出版局)

メッセージ「大切にすることは何か」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-504番「主よ、み手もて」(©JASRAC)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 ヨエル書^{しよ} 2章^{しやう} 12-13節^{せつ} (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

12 今からでも

心を尽くし、断食^{だんじき}と泣き叫び^{なげ}と嘆き^{なげ}をもって
私に立ち帰れ——主の仰せ。

13 あなたがたの衣^{ころも}でなく心を裂き

あなたがたの神、主に立ち帰れ。

主は恵みに満ち、憐れみ深く

怒るに遅く、慈^{いつく}しみに富み

災^{わざわ}いを下そうとしても、思い直される。

聖書 マタイによる福音書^{ふくいんしよ} 6章^{しやう} 16-21節^{せつ} (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

16 「断食するときには、偽善者のように暗い顔つきをしてはならない。彼らは、断食しているのが人に見えるようにと、顔を隠すしぐさをする。よく言うておく。彼らはその報いをすでに受けている。17 あなたは、断食するとき、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。18 あなたの断食を人に見られることなく、隠れた所におられるあなたの父に見ていただくためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

19 「あなたがたは地上に宝を積んではならない。そこでは、虫が食って損なったり、盗人が忍び込んで盗み出したりする。20 宝は、天に積みなさい。そこでは、虫が食って損なうこともなく、盗人が忍び込んで盗み出すこともない。21 あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。」



《先週のメッセージより》2025年2月23日

「力は弱っている時にこそ発揮される」

牛田匡牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章 1-10節

神様から祝福され、「神の力、神の守りがある」というのは、どのような状態のことでしょうか。伝道者パウロは「力は弱さの中で完全に現れるのだ」（9節）、「私は弱い時にこそ強い」（10節）と、矛盾するような言葉を、手紙に記しています。ここで言われている「弱さ」とは、パウロ自身の力の足りなさや欠乏のことです。彼は反対者たちが批判するような、特別に優れた能力、他の多くの人々から見て「奇蹟」的で「超能力」的な能力を持っておらず、自分でもそのことを自覚していました。ですが、一方の「力」「強さ」は、パウロのものではなく、神様から与えられるもののことを表しています。そもそも、自分で自分を誇ることができるような人、地位や権力、財産や名誉、健康、そして他者と比べて優れた能力などを持っている人は、神を必要としていません。神を必要としている人は、自分の欠けを知り、弱さを知り、無力さを感じている人たちです（マタイ 9:12 並行）。

天高く、空の彼方に、輝いている星たちの光は、昼間の明るい時には目に届くことはなく、夜の暗闇の中でしか見ることが出来ません。そのように、神様は常に隣にいて下さっているにもかかわらず、私たちはその力と働きの存在を忘れていくことが多く、その事実私たちが改めて気付かされるのは、私たちの力が弱く、足りなくなった時ではないかと思えます。だからこそ「神様の力は、自分が弱っている時にこそ発揮される」のだと思えます。「神の力がある」「祝福される」とは、明るく大きく輝き続ける星のように、毎日がハッピー（幸せ）で、嫌なことや不幸なことが全くないこと。事故や病気にも一切遭わず、お金にも食べ物や着る物、住む場所にも事欠かなくなること、言い換えれば、常に「強くいられる」ことではありません。むしろ、「このまま進んでも大丈夫だろうか。このやり方で合っているだろうか」と自信が持てずに不安に怯えている時に、「大丈夫」「一緒にいるよ」と言ってくれ、小さな星の光で導いてくれる。そのような力なのだと思います。たとえ事故や病気、困難に遭ったとしても、それでも絶望に終わらない、ということ。暗闇に閉ざされてしまわない、小さな希望の光は灯り続けている、ということ。「神様は私を見放していない」と信頼して、再び歩みを起こして行くこと。それが「復活（死からの引き起こし）」であり、また「弱っている時にこそ発揮される神の力」なのだと思います。いつも私たちを支えて下さっている神様と共にあって、その力を頂きながら、私たちは今日もここから小さな一歩を踏み出して参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年2月23日

礼拝出席 大人6名 子ども2名 献金 大人4,300円 中継視聴者数8回 感謝
 礼拝後に、釜ヶ崎支援のために、184個のおにぎりを作り、いこい食堂にお届けしました。ご協力くださった皆様、献品くださった皆様、どうもありがとうございました。次回は3月16日の予定です。

◎次週 2025年3月9日(日) 受難節(レント) 第1主日礼拝

招きの詞 詩編 91編 1-5節

聖書 マタイによる福音書 4章 1-11節

メッセージ 「つきまとう悪魔」水谷憲牧師

賛美歌 305番(©JASRAC)、294番(©教団)、284番(©教団)、142番(©P.D.)

今年のレント(受難節・四旬節)は、3月5日(水)から4月19日(土)です。

レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 本日、礼拝後に3月期の「教会を考える会」を行います。
- 3月25日(火)~27日(木)にかけて、2泊3日のプログラムで、部落解放センター主催「部落解放ユースゼミナール」が開催されます。会場は阿倍野教会と、「にしなり隣保館スマイルゆ〜とあい」です。対象は30代までの方で、参加費は5,000円です。宿泊先は会場の近くに自分で手配する必要があります。申し込みは3月8日(土)までに部落解放センターまでお申し込みください。
- 3月7日(金)13時半から、日本福音ルーテル大阪教会(地下鉄・谷町4丁目駅下車徒歩1分)にて、2025年世界祈祷日の礼拝が行われます。
- 「3・11東日本大震災」を覚えての礼拝が今年も各地で行われます。3月9日(日)14時半から奥羽教区の礼拝がYouTubeでも配信されます。3月10日(月)14時~16時大阪教区の礼拝(ZOOM参加可)。翌11日(火)14時半から、東北教区の礼拝がオンラインFacebookライブ配信されます。
- 3月8日(土)14時~16時にかけて、大阪クリスチャンセンターにて、特別公開講座『宗教2世』を育てようー非暴力の教育のススメ』が開催されます。講師は小見のぞみさんで、参加費は1,000円です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/9	水谷憲牧師	
3/16	牛田匡牧師	おにぎり支援
3/23	牛田匡牧師	臨時教会総会?
3/30	水谷憲牧師	誕生者祝福式

OCCカレッジ特別公開講座

「宗教2世」を育てよう

ー非暴力の教育のススメー

真のキリスト教育とは、教えることではありません。その場にいる人たちが一子どもが、生徒が、学生が、信徒が、保育者、教育者、教師と共に一認め合い、学び合い、感謝し合い、福音を経験し合うところで確かに起こっていくものなのです。教師が力を持ち、それをふるうのではない教育、すなわち非暴力のキリスト教教育について、考えていきましょう。

日時 2025年3月8日 14:00~16:00

会場 大阪クリスチャンセンター多目的ホール
 〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26-47

参加費 1000円(要申込み)



講師 小見のぞみ

聖和大学教育学部キリスト教教育学科、Presbyterian School of Christian Education卒業。日本基督教団キリスト教教育主事。子ども、女性、若年層、高齢者のキリスト教教育、人権教育が学びと仕事の中心となる課題。現在、関西学院短期大学副学長、教授、宗教主事、キリスト教教育・保育研究センター長。著書に『奪われる子どもたちー韓国から考える子どもの権利の話』(教文館2020)、『非暴力の教育ー今こそ、キリスト教教育を』(日本キリスト教団出版局2023)、『聖書のお話を子どもたちへ』(日本キリスト教団出版局2024)など。

お申込み・お問合せ

大阪クリスチャンセンター QRコードからお申込みいただけます

[TEL] 06(6762)7701(日・祝祭日10:00~17:00) [FAX] 06(6762)9885

[E-mail] info@osakachristiancenter.or.jp

